

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が増加し、客単価も上がっている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比50%増と5か月ぶりに増加、前年同月比でも同様に7%増と、来場組数が増加している。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率は、前年同月実績を下回る状況が3か月前と変わらず、なかなか回復しない状況である。正直なところ、今年に入り客室稼働率が前年実績を上回った月がない。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・個人住宅、投資建築案件などバランス良く工事受注できている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・免税売上の減少傾向に加え、消費税増税の影響もあり、衣料品を中心に過去にない厳しい状況となっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・やや悪くなっている。まだ消費税増税の影響があるのか、客も慎重に購入しているとみられる。
		旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・台風、大雨などが続き旅行や出張等が相次いでキャンセルとなり、売上自体がかなり落ちている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・国内災害や、韓国、香港の状況の影響がある。
		x	商店街（代表者）	お客様の様子
	x	スーパー（販売企画）	来客数の動き	・今月は消費税増税の駆け込み需要の反動でやや悪くなっていると考えられる。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・10月は年間で一番数字が落ちる月で、なおかつ消費税増税で例年より地元客の動きが鈍い。また、週末はいろいろなイベントが各地であり、早い時間の入客が落ちている。
	x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・連休の台風の影響、韓国人入域客数、中国人観光客の消費等の具合が悪い。ホテルの数も増えたことで、客の取り合いになって厳しい状況になっている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は前年比減、民間は前年比増、全体では横ばいとなっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約が全く止まっている。
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・国内小売大手である取引先の海外店舗への出荷が増大している。香港や韓国等、現地の情勢や外交問題もあるが、影響が出ていない部分での景気に関しては、変わらず好調な様子である。
	x	食料品製造業（総務）	取引先の様子	・食料品は制度として消費税増税の影響はないが、消費行動が慎重になっているのか、売上が振るわないとの取引先の情報がある。
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求職者数が減少している。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・10月の週平均求人数は701件で、3か月前の783件と比較すると82件減少している。また、前年同月比でも96件減少している。
	x	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前年のこの時期には、2次募集3次募集と追加の求人があったが、今年は求人情報がびたりと止まっている。来年度の就職市場が変化しそうな気配がする。